

授業科目名	社会福祉Ⅱ		担当教員名	入江 実
必修/選択	選択 (社会福祉主事任用資格)		開講学年・学期	2年 前期 (※令和2年度 開講なし)
科目区分	その他の資格取得科目		単位数	2単位
施行規則に定める科目区分等			授業方法/担当形態	講義 / 単独
			特記事項	
授業の到達目標	現代社会において社会福祉が果たす役割、また、隣接する諸科学の成果を福祉に活用することの意味についても触れながら、実践が身近な課題であることを理解させる。そして、現代の生活は過去の人々の汗の結晶であり、その生き様を学習させるとともに、未来の生活のすべを見定めていきたい。 (1)現代社会における社会福祉の理念と意義について理解する。 (2)社会福祉の発達の課程と方向性を理解する。 (3)社会福祉サービスの提供方法と組織運営の原則を理解する。 (4)社会福祉従事者の現状及び専門職制度について理解し、連携の基盤を形成する。 (5)社会福祉をめぐる我が国及び諸外国の動向を理解する。			
授業の概要	社会福祉が実践的な学問であると同時に他の科学的な専門領域を生活援助のための有効な社会資源として活用し、コト・モノ・ヒト・イデオロギイの意味を理解してもらう。また、生活援助のために有効な社会資源を見つけ活用する創造性を養うことにある。			
テキスト	「新・社会福祉とは何か」一番ヶ瀬康子編著他 (ミネルヴァ書房)			
参考書・参考資料等	特に指定せず			
成績評価の方法	○授業への参加意欲：20% ○レポート：25% ○定期試験：55%			
授業計画	授業の内容			到達目標番号
第1回	福祉の原理と理念 (1) ・人間の尊厳と哲学			
第2回	福祉の原理と理念 (2) ・福祉の原理への理論的接近			
第3回	福祉の原理と理念 (3) ・社会福祉の理念			
第4回	社会福祉のニーズと資源 (1) ・福祉サービスのニーズと需要			
第5回	社会福祉のニーズと資源 (2) ・福祉サービスの供給システム			
第6回	福祉サービスの供給システムと利用過程、利用者負担 (1) ・福祉サービスの供給システム			
第7回	福祉サービスの供給システムと利用過程、利用者負担 (2) ・福祉サービスの利用過程			
第8回	福祉サービスの供給システムと利用過程、利用者負担 (3) ・福祉サービスの利用者負担			
第9回	相談援助活動と福祉サービス (1) ・相談援助活動の特徴			
第10回	相談援助活動と福祉サービス (2) ・相談援助活動の方法論 (ケースワーク、グループワーク、コミュニティ・オーガニゼーション)			
第11回	相談援助活動と福祉サービス (3) ・相談援助活動と政策形成			
第12回	社会福祉の展開と福祉人材 (1) ・福祉人材政策の展開			
第13回	社会福祉の展開と福祉人材 (2) ・福祉人材の資格と養成			
第14回	社会福祉の展開と福祉人材 (3) ・社会福祉の専門機関と専門職			
第15回	社会福祉関連法 ・福祉6法他 ・総まとめ			
定期試験	筆記試験			